

令和2年度児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所自己評価及びアンケート結果対比表

	事業所評価		チェック項目	利用者評価				
環境面	はい (91%)	9%	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	はい (95%)	5%			
	はい (100%)		②職員の配置数や専門性は適切か	はい (100%)				
	はい (91%)	9%	③事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい (90%)	10%			
適切な支援の提供	はい (100%)		④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか	はい (100%)				
	はい (91%)	9%	⑤活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	はい (100%)				
連携	はい (73%)	いいえ (18%)	9%	⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	はい (50%)	どちらとも (40%)	5%	無回答 5%
説明責任	はい (100%)		⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	はい (90%)	10%			
	はい (100%)		⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	はい (95%)	5%			
	はい (100%)		⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	はい (90%)	5%	5%		
	はい (36%)	いいえ (54%)	9%	⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	はい (45%)	どちらとも (40%)	10%	無回答 5%
	はい (91%)	9%	⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい (100%)				
	はい (100%)		⑫子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい (100%)				
	はい (82%)	いいえ 18%	⑬定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているか	はい (95%)	5%			
	はい (100%)		⑭個人情報に十分注意しているか	はい (95%)	5%			
非常時の対応	はい (82%)	いいえ 18%	⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	はい (100%)				
	はい (82%)	いいえ 18%	⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	はい (100%)				
その他			⑰子どもは通所を楽しみにしているか	はい (95%)	5%			
			⑱事業所の支援に満足しているか	はい (100%)				

## ご意見

- ・ 個別な要望に臨機応変に対応してくれてありがたい。デイに行くと、子どもの表情がとても良い。
- ・ いつも楽しく利用させてもらって感謝している。スタッフが明るく対応してくれてうれしい。
- ・ 子どもが楽しく過ごせてうれしい。安心して預けることができる。
- ・ スタッフの入れ替わりについてお知らせがあると良い。
- ・ 細やかな気配り、優しい言葉かけをしてもらい、利用するとホッとした気持ちになる。来れないときも気にかけてくれ、子どもだけでなく母も毎回楽しみにしている。

### ▶上記アンケートに対しての意見

- ・ ⑧について…毎回いねいに連絡帳を書いてもらえて助かる。

## 自己評価とアンケートについて

### 共通点

環境面、支援の提供、共通理解については、概ねポジティブな意見で一致していた。また、保護者同士の連携の支援についてはネガティブな意見で一致していた。

### 相違点

子供たちの発達状況・課題についての共通理解や支援内容などの説明に関するアンケート項目で相違があった。また、非常時の対応に関する訓練や発信に関するアンケート項目でも相違があった。

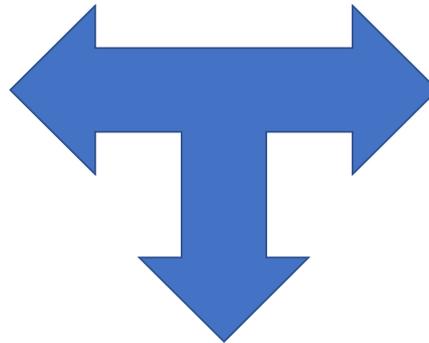
## 事業所の強みと改善点

### 事業所の強み

手厚い人員配置や多職種による関わりにより、子供たちの経験の幅の広がりにつながっていると考えます。

### 改善点

今年度は感染症の流行もあり、ご家族との面談などコミュニケーションの機会が減少し、子供たちの発達状況・課題についての共通理解や支援内容・書類などの説明が不十分になってしまったため、保護者との話し合いの時間を作り、共通理解を深めていきたいと考えています。



## 改善に向けた取り組み

今年度は感染症の流行にて外部との交流の機会や保護者会の実施、ご家族との面談も行えなかったことがアンケートの結果に繋がってしまったと考えております。今後の取り組みとしましては、感染症の対策をし予防に配慮しながらご家族様とのコミュニケーションの時間を作り、子供たちの発達状況や課題について共通理解を深めていけるよう支援してまいります。引き続き子供たちの経験の幅の広がりにつながるよう、多職種による関わりにて必要な支援の提供が安全に行えるよう整備を図っていきます。